

2018 年 12 月 7 日 COSMOS 全体ミーティング議事録

【ヨシモトコレクションの 3D データ公開】

- ・ライオン、シマウマ骨格完成（12 月 10 日より公開）

<http://www.kahaku.go.jp/research/db/zoology/skull3D/>

※側頭筋、後筋→咬筋が付着した状態を見られるよう、追加 3D を現在作成中。

- ・3D の人類版ができれば良い

データは（レプリカから取ったもの）あるが、レプリカの複製は二次使用にあたるため、教育目的であっても使用が難しい。様々な博物館がデータは提供しているが、教材にはなっていない。

- ・著作権：元標本からの作製でないとクリアが難しい。

【動物園ワーキンググループ】

- ・スクールプログラム「鳥のくちばしのひみつ」を本日体験。

実際の動物園やかはくの標本とリンクできるよう、検討したい。

「動物園教育で子どもたちがアクティブに！」著者松本氏を COSMOS に招聘し講演していただけないか検討中。

- ・愛知教育大学で開催される日本生物教育学会大会の翌日モンキーセンター見学予定。予定は Slack にあげる。

【ミウラ折りワーキンググループ】

- ・データ共有が上手くいっていない。最新版を早く UP いただけるよう、調整していただきたい。

【ワークシート作りワーキンググループ】

- ・本日は欠席だが、進捗進めている。

【科学技術史の問作りワーキンググループ】

- ・精選した問を分類してみたが、地学等多岐に分かれてしまった。「フレームワーク」は作成できるのではないか。ネタ集的なものが作成できれば良いか。
- ・科学史を知りたいというニーズはあるようだ。
- ・各自で特別展（千の技術博）に行き、オススメポイントを共有する。

【探究ナビ「探究 PL カードで学びを振り返ろう（ベネッセ 4 月に発刊）」紹介】

- ・パターンランゲージをもちいたふりかえり手法の紹介

街づくりの手法—色々な要素を用いてふりかえりをしていくツール（別添）

- ・自分をふりかえるツール
- ・探究 PL カードは導入としては仕様検討ができるが、ふりかえりでは不要かもしれない。

⇒まだモニター段階ではあるが、カードを使用できれば対話の促進にはなるかも。

- ・「問づくり」の成否ですべてが決まる。

⇒問を分解してやるくらいが生徒にはちょうど良いのではないかな。

〔COSMOS での自分の活動をふりかえり〕

例：8. 自分なりのおもしろポイント⇒オススメポイント

取り入れたい PL をほかの人に聞く⇒対話のグループワーク

自分の得手不得手やもっとやってみたいと思える箇所を発見していく。

※年度末 3 月に企画・運営のふりかえりを実施したい。

【後半は鳥のくちばしのひみつを体験】